

まちの話題

伝統の舞に観客ら拍手

10月12日、奥米地の水谷神社の秋祭りで来年の豊作を願って奉納される「ねっつい相撲」が披露されました。



奥米地、水谷神社の「ねっつい相撲」

この相撲は、平安時代から伝わるとされており、土俵も勝敗もなく、上半身裸で、はかまをはいた氏子2人が向かい合い、腰に手を当て「ヨイ、ヨイ、ヨイ」の掛け声を発し四股を3度踏んだ後、「ヨイ」と威勢のいい声とともに拳を突き出し、さらに互いの首を抱え合って1周飛び回りました。一つ一つの動作が披露される度に大きな拍手が沸き起こりました。

「仙櫻」坑道で熟成新酒蔵出し

10月21日、大屋町明延の明延鉱山探検坑道内の「明寿蔵」で、今年5月に蔵入れした純米吟醸酒「仙櫻」の蔵出し式が行われ、関係者ら約40人が新酒の完成を祝いました。

仙櫻は、市が山陽盃酒造（宍粟市、壺阪興一郎社長）の協力を得て、大屋地域で生産された有機米「蛇紋岩米」と氷ノ山の湧き水を使用して醸造している純米吟醸酒です。また、この坑道は酒造りに重要とされる温度も12〜15度に保たれています。

同日行われた蔵出し式では、テープカットの後、関係者らは半年間熟成された「仙櫻」を味わいました。壺阪社長は「芳醇な味わいで口の中にうまみが広がり、香りもまろやかに満足のいく出来になりました」と話しました。



蔵出しされた仙櫻

一元電車復活運行 「あけのべ・一元電車まつり」

10月25日、大屋町の明延振興館をメイン会場として、地元住民らで作る「鉱石の道」あけのべ実行委員会（中尾一郎会長）などが主催の「あけのべ一元電車まつり」が開催されました。

当日は、市内外から約2千人が一元電車に乗ったり、坑道見学などを楽しみました。

明延振興館駐車場に長さ30mのレールが特設され、客車「くろがね号」をバッテリーで動く機関車に連結して運行し、乗客には一元電車の復刻切符がプレゼントされました。

同まつりに参加した子どもたちは「車内は狭く天井も低く、音もうるさかったけど、面白かった」と笑顔で話してくれました。



特設されたレールを走る「くろがね号」

第34回兵庫県小学生陸上競技但馬大会 養父市選手が活躍

9月26日、第34回兵庫県小学生陸上競技会但馬大会が豊岡総合スポーツセンター陸上競技場で開催されました。

同大会は、但馬地域（朝来市を除く）の小学5年、6年の児童が出場し、日ごろの練習の成果を競いました。同大会で上位入賞した3人は揃って「最初は緊張したけど、いつもより良い記録ができました。」を入賞の喜びを話してくれました。

主な結果は次のとおりです。（養父市関連、上位3位まで掲載）▶5年走高跳／1位＝藤澤海斗（広谷小）1尺15 ▶6年走幅跳／2位＝北本純也（八鹿小）4尺39、3位＝谷口雄咲（小佐小）4尺34



左から北本君、藤澤君、谷口君

新しく圓山慶子さん、岩本利幸さんが 人権擁護委員に

任期満了に伴い、平成15年から6年にわたり人権擁護委員を務められた田原一弘さん（広谷）と西田唯之さん（養父市場）が退任され法務大臣から感謝状が贈られました。

田原さんと西田さんの後任として、圓山慶子さん（小城）と岩本利幸さん（大塚）のお2人が選任されました。

現在、養父市の人権擁護委員は9人です。委員の皆さんには、毎月第3金曜日に旧町別に人権相談会の開催などご尽力いただいています。

今後とも人権擁護思想の普及のため、活動をよろしく願います。

選任



圓山慶子さん(小城)

選任



岩本利幸さん(大塚)

退任



田原一弘さん(広谷)

退任



西田唯之さん(養父市場)

「人権」一口メモ

★第61回人権週間

国際連合は、昭和23年(1948年)12月10日の第3回総会において、すべての人民と国民が達成すべき基本的人権についての宣言である「世界人権宣言」を採択しました。

そして、12月10日が「人権デー」と定められたことにより、法務省と全国人権擁護委員連合会では同日を最終日とする1週間を人権週間と定め、人権尊重思想の普及のための啓発活動を行っています。

また、同年には人権擁護委員令が公布され、この制度を恒久的なものとするため昭和24年5月31日に「人権擁護委員法」が制定されました。

★12月10日から16日は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」

拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題についての関心と認識を深めることを目的として、毎年12月10日から16日までの1週間を「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」と定めています。

この問題を早期に解決するためには、私たち一人ひとりが意識し、国際社会と連携することが重要です。